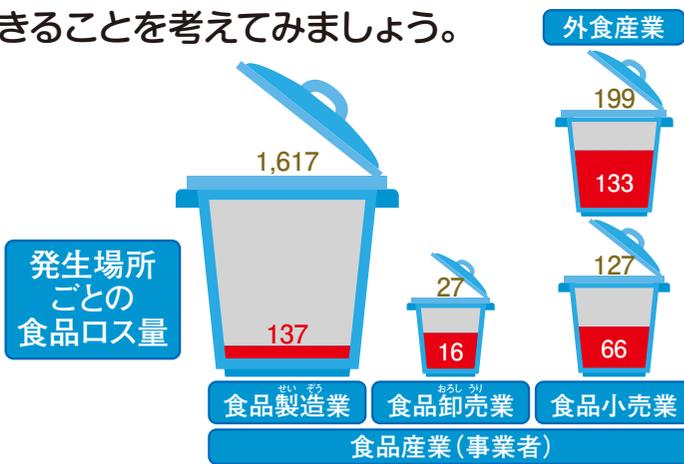


城南衛生管理組合は宇治市・城陽市・八幡市・久御山町・宇治田原町・井手町が環境廃棄物行政を推進するための特別地方公共団体(一部事務組合)です。

食品ロスについて考えよう

世界では、毎年作った量の3分の1に当たる13億トンもの食べ物がすてられています。食べることができるのにすてられるなんてもったいないですね。みんなも「食品ロス」をへらすためにできることを考えてみましょう。



日本中のおうちから出ている食品ロスはおよそ291万トンもあります。つまり、食品ロスの約半分はみんなのおうちから発生しているのです。世界では、人類の9人に1人、約8億人が栄養不足に苦しんでいるといわれます。こうした食料が足りない人たちに援助される量がおよそ320万トンですから、同じくらいの量なのです。

みんなのおうちで食品ロスが発生してしまう原因には、主に次の3つがあります。

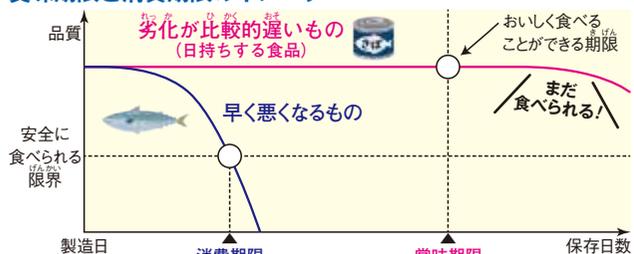
食品ロスの半分は家庭から

日本の食品ロスは、1年間におよそ643万トンです。どのくらいかと言うと、大型トラック(10トン車)約1700台分の食べ物を毎日すてている計算になります。

日本では、1年間におよそ2759万トンの食べ物がすてられています(平成28年度推計)。しかも、この中には、まだ食べられるにもかかわらず、すてられている食品もふくまれています。これを「食品ロス」と呼びます。

日本の食べ物について

賞味期限と消費期限のイメージ



出典：消費者庁「家庭での食品ロス 食品ロス削減マニュアル」より作成

食品がすてられる理由で一番多いのは、「消費・賞味期限内に食べられなかった」というものです。消費期限は「食べても安全な期限」、賞味期限は「おいしく食べることができる期間」です。賞味期限は、過ぎたからといって食べられないわけではありません。すぐにはかたがたに、食べられるかどうか判断することも大切です。

消費期限と賞味期限

- 消費・賞味期限内に食べられなかった
- 購入後、冷蔵庫や保管場所に入れたまま存在を忘れてしまった
- 必要以上に買いすぎた

速報! 「食品ロス削減推進法」が成立!

2019年5月24日、「食品ロス削減推進法」が成立しました。この法律は「国民運動」として食品ロスの削減を推進することが特徴で、消費者であるみんなにも食品の買い方や調理方法の見直しなどに取り組み努力を求めています。また、10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」となりました。

ホームページにアクセスしてね!

城南衛生管理組合のホームページには、キッズページや、食材の食べきり・使い切りのための「エコッキングレシピ集」など役立つ情報もたくさんあります。

メールで質問などもうけつけていますので、ぜひ一度アクセスしてね。

はじめよう つれてって! 習慣

食品ロスの削減には、買い物の前に冷蔵庫やキッチン収納の食品をチェックしてムダなく買い物をすることも大切です。下の3つのような食品を買う時に意識したい行動を「つれてって習慣」と名付けています。

もうすぐ夏休み、おつかいをたのまれることもあるかもしれません。家族みんなで「つれてって習慣」で食品ロス削減に取り組みませんか。

- ★賞味期限の近いものから順番につれてって! 順番に買うことで、食べ物をムダなくおいしく食卓へ
- ★ムダなく使いきれないように食べられる量をつれてって! 買うときに、「食べられる量かな?」を意識して
- ★家にあるものを思い出しながらつれてって! 家にある食材をチェックして、買い物へ

出典：フードロスチャレンジプロジェクト「つれてって習慣」 消費者庁「家庭での食品ロス 食品ロス削減マニュアル」

① オリンピックにも「食品ロス」問題

オリンピック大会期間中には、約1500万食の食事が提供され、これまでは大量の食品ロスが生まれていました。2012年に開催されたロンドン五輪では、24433トンもの食品が捨てられました。うち21%は保管中にくさってしまったり、34%は食べ残し、45%は調理時のロスでした。これは、調理した食事は、そもそも2時間以内を提供するという衛生機関の指導があるうえに、200以上の

② リオ五輪の取組

リオ五輪では、食べ残しをへらすため、サイズのちがうメニューを提供するなどの工夫がなされました。また、世界各国のシェフがオリンピック選手村の食品ロスを解決するために立ち上がり、選手村で何もしないとは

国・地域から選手が集まるため、たくさんの種類の食事を用意する必要があったからです。これを受け、2020年の東京五輪では、食品ロスをへらす方法の検討を進めています。

東京2020 オリンピック・パラリンピックと 食品ロス

来年2020年は、いよいよ待ちに待った東京五輪！楽しい大会の開催も、じつは「食品ロス」の問題が隠れています。

東京五輪に向けて

オリンピック大会中の食品ロスをへらすには、
①材料を適切に調達・保管すること
②作りすぎをふせぐこと
③食べ残しをへらすことが大切です。
現在、食品の管理にIT技術を使うことや、あまった食品を食べ物にこまらせた「フードバンク」を活用することなどが考えられています。



「もったいない」精神で食品ロス削減に取り組んでほしいのだ！

エネキン

★夏休み親子企画★

もう申し込みは、エコ・ポート長谷山へ

7月2日(火)
8時30分から受付
(8月13日(火)のリサイクル教室は7月22日(月)から受付)
エコ・ポート長谷山、クリーンパーク折居へは右の地図を見てください



※作品の色・柄は写真とことなることがあります。

この夏、エコ・ポート長谷山とクリーンパーク折居で工作教室を開きます。使わなくなった布やガラスやペットボトルなどを使って作るエコな工作教室に、ぜひ参加してみてください。

☎ 0774-56-5556 (休館日：水・木曜日)

◆クリーンパーク折居で開催

7月28日(日)
衣服教室
「うちわで作る夏飾り」
時間：10時～15時
参加料：300円 (親子で1つ)
定員：12組 (3種類 各4組)
※昼食をご用意ください
※台は別売り100円



同時開催

クリーンパーク折居施設見学会

時間：1回目：10時～
2回目：12時20分～
(所要時間：40分程度)

参加料：無料
定員：各回20人



※施設見学会の申し込みは当日、9時30分より行います。
※見学のみの来場もお待ちしています。10時から15時の間は自由に見学いただけます。
※駐車場は数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

◆エコ・ポート長谷山で開催

8月4日(日)
ガラス教室
「モザイクアートとびん底のサンド」
時間：10時～12時
13時～15時
参加料：500円 (親子で2種類) 定員：各5組10人



8月13日(火)
リサイクル教室
「アニマルバイク」
時間：10時～12時
13時～15時
参加料：無料 (親子で1つ)
定員：各12組24人
※当日、2階フロアにて自転車発電体験ができます。

